

平成24年5月7日

立教大学学生部 殿

第59回立教学生キャンプストア店長
大関 輔

キャンプストア改築のご理解・ご協力について

【請願書】

私たち立教大学広告研究会は今年で創部59年を迎え、これまで学生部の皆様からご支援、ご指導を頂きながら活動を続けて参りました。また、創部以来、広告研究活動の一環として、館山市北条海岸で立教学生キャンプストアを実施しています。また、キャンプストアは学生が夏季に海の家を運営し、マーケティングを実践する場として貴重な体験の場となっているところです。

しかしながら、現在のキャンプストアは創部以来、改修を重ね利用している為、ここ数年施設の老朽化に伴う雨漏りや鉄骨の腐食などが大きな課題となっており、改修を委託していた業者様の意見でも改築が望ましいと言われてしています。

一方、私たち広告研究会部員の一致した意見では、現在、一校となってしまった学生キャンプストアはマーケティング実践の場として益々貴重な場となっており、この貴重な場を後々、後輩へ繋げることも重要な役割と考えています。夏季のわずか2ヶ月間の合宿生活の場ですが、厳しい規律の中、同じ釜のメシを食うと言う体験は健全な立教生を育む「体験の場・成長の場」とも考えています。

こうした歴史の積み重ねを通し、館山市役所の協力を得て行うイベントや観光客誘致活動の中で私たちが貢献できる活動などを行い、地域の一員として活動を実践できる場とも位置づけています。お蔭様で、これらの活動を通じた地域の理解も深まり、評価も頂いています。

また、キャンプストアは歴代のOBとの交流の場ともなっており、社会や企業で活躍するOBの意見や体験、就活情報を拝聴する場として、貴重な役割を担っており、文化会の中でも連携の深さは稀有な存在と自負しています。今回の建替えについても、OBと意見交換を度々重ね、慎重に進めています。

以上のことから、立教学生キャンプストアは、今日、他校には見られない学生時代の多面的な体験を実践できる貴重な場となっており、私たちはこの伝統を未来へ繋ぐ価値有るものと理解しています。